



Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
 NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ユース-我らの財産・我らの誓い
- ② アジア会長標語 ひとつとなって青年とYMCAへ
- ③ 日本区理事標語 共に生きる喜びを確信しよう
- ④ 中部部長標語 交わろう隣人と
- ⑤ 会長標語 はみ出そうYMCA!

1996年 4月号

〈 今月の聖句 〉

若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なされて、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。

マルコによる福音書 第15章6節

1996年4月例会のご案内

● 第一例会

と き ; 4月8日(月) 19時~21時
 と ころ ; 名古屋YMCA 3階AVホール
 プログラム ; フィリピンワークキャンプ報告会
 講師 南山ファミリーYMCA
 職員 行本 浩人

本年度のフィリピンワークキャンプは、3月1日~3月39日の日程で、ルソン島ツゲガラオ市カガヤン村において、ウォーターシステム、バスケットボールボード作り等を行うために、男女各3名にて出発しました。

我がグランパスクラブも結団式パーティと運営協力をさせていただきました。また行本主事は、グランパスクラブの発足より連絡主事としてがんばっ

ていただきました。当日はできましたらキャンパーも参加していただき、くわしくフィリピンの近況とこのキャンプがかれらにいかにか意義のあるものであったかを再確認をして来年へと継続したいと思います。実りのある国際協力事業としてクラブの皆様にも全員出席でおねがいします。

ドライバー 尾崎 史忠兄
 アシスト 丹羽 真清兄

● 第二例会

と き ; 4月23日(火) 19時~20時30分
 と ころ ; 名古屋YMCA 4階407号室

● ブリテン委員会

と き ; 4月17日(水) 19時~
 と ころ ; 名古屋YMCA

グランパストーク

'95夏の思い出

尾崎史忠は念願かない紀江(としえ)さまと昨年'95夏、結婚しました。御厚情を賜りました皆様方にはここに紙面を借りて改めて厚く御礼申し上げます。

さて、その'95夏、同じ時期に私の伯母達が『国文学者 石田元季伝』(国媒社)を出版し、結婚の時期であった為もあり、ことのほか印象に残っておりますので御紹介いたします。

私は無学であり石田先生の事をあまり知りませんでしたので御紹介しますと、元季先生は、愛知一中(現旭丘高校)教員を初めとし、明倫中学(現明和高校)、愛知医大予科(現名大医学部)教授、金城女専(現金城

学院大)、桜菊女子学園、一時期、八高の講師を務められた国文学者でありました。

主に俳文学と能学の研究をされ、尾張俳諧史について研究された『俳文学考説』は、大変名著として国文学界では有名なのだそうであり、現在、東区清水町(現白壁町)の旧宅は名古屋市の史跡に指定され、先生を偲ぶよすがとなっています。

先生は明治十年、京都に生まれ、石田家は知恩院官侍の学問の家で、明和七年(1770年)から知恩院に仕えておられたそうです。

御子様も国立病院より名古屋の安田病院長を務められ、御孫様も中部電力で電力事業を通じて社会に貢献されておられるそうです。

『国文学者石田元季伝』-石田元季先生事蹟調査この糸会、編著 風媒社刊 尾崎 史忠

3月26日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ァ ン ド (3月)	
	在 籍 者	23名	第 1 例 会	11名	当 月 ・ 切 手	-	ニ コ B O X ノ ー ト	7,000
	例 会 出 席 者	15名	第 2 例 会	10名	当 月 ・ 現 金	-	フ ェ ン ド	1,980
	当 月 出 席 率	65%	部 会 他	8名	累 計	-	合 計	8,980

3月第1例会報告

インターネットの概要とビジネスへの応用

卓話講師 春日裕忠 氏



春日氏は南山YMCAにて野外活動等の活躍で長年深い関わりをもたれ、その後歯科医をされていたが近年日本インターネットアクセス株式会社を開設された。

インターネットとは、コンピューターの通信回線のためのもので接続されているルートを様々にもち災害等により経路が部分的に遮断されても通信維持できるネットワークである。もともとは米国において1969年より軍と学術関係の利用に限られていたが、近年商用化のためにAT&T等大手通信会社を中心に広がっていった。日本では14年も遅れて文部省と一部の大学間で開始されたが、日米共1991年になるとプロバイダー（接続業者）が次々生まれネットワークが広がっていった。

パソコン通信はホスト局との一方向的だがインターネットは網の目状に回線が存在する。インターネットの機能は目的の情報をいつでも入手できることである。ビジネスの内容としては、プログラム（番組）をユーザーに提供する際、広告を載せ宣伝料金を得、スポンサーは売上増をはかるといふものである。情報提供は非常に便利で、例えば病院の案内とかホテル、旅行、チケットの手配等、予約の必要なものの内容をオンデマンドを使って刻々と変化するリアルタイムの情報を受けられる。また通信販売に適しており、カタログを取り寄せるなくても画面で内容が詳しくわかり、購入することができる。

今後の展開としてはクレジット会社のデジキャッシ利用による安全な取引（現金やカードを介さ

ない）ができるようにすることである。現在まだユーザーが240万人と少ないが、パソコンの低価格化とNTT回線使用により1,000万人ユーザー時代が到来する日は近いだろう。

馬場 寅太郎

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ご結婚おめでとうございます。

李 永俊さん 以智子さん

IBCでは大変お世話になっている、李さんが3月14日(日)、新婦のご実家である大阪岸和田市の寺院においてめでたくご結婚されました。お二人に歩みをご紹介します。

1992年4月のある日、EEC梅田校の日本語クラスの教室で二人は出会いました。まだまだ学生以上に緊張してしまう新米日本語教師と希望に燃えて海を渡ってきた元気のいい韓国の若者との出会いでした。若者が他のクラスに変わった頃から二人は学校の外で日本社会の問題や韓国のお国事情などについて真剣に語り合い始めました。まだ筆談や英語が必要でした。かくして中之島公園のベンチから二人の思い出はスタートしました。

そしてお互いの心の問題にも触れるようになっていた7月30日、李さんが突然、二人の将来への思いを打ち明けました。この時既に言葉の壁は取り除かれていました。

これまでの5年間は、二人を成長させてくれて余りある歳月でした。いろいろな困難や喜び、そして様々な人々との出会いを経て、それぞれに相手の大きさと同時に弱さを味わったおかげで、ありのままの存在を認め合える気がしてきました。これからも喧嘩や話し合いを続けていくことでしょう。

二人の結婚には理由も目標も評価もありません。相手の存在が自然、それだけです。



日本区準備委員会報告 No. 3

3回目の準備委員会の報告をいたします。3月9日に準備委員会から実行委員会へと組織を変え、池野委員長のもと、初の委員会を行い、以下決定した事を報告致します。

まず、名称は「ワイズメンズクラブ国際協会設立75周年記念インターナショナルワイズメンシンポジウム」第50回日本区記念大会と

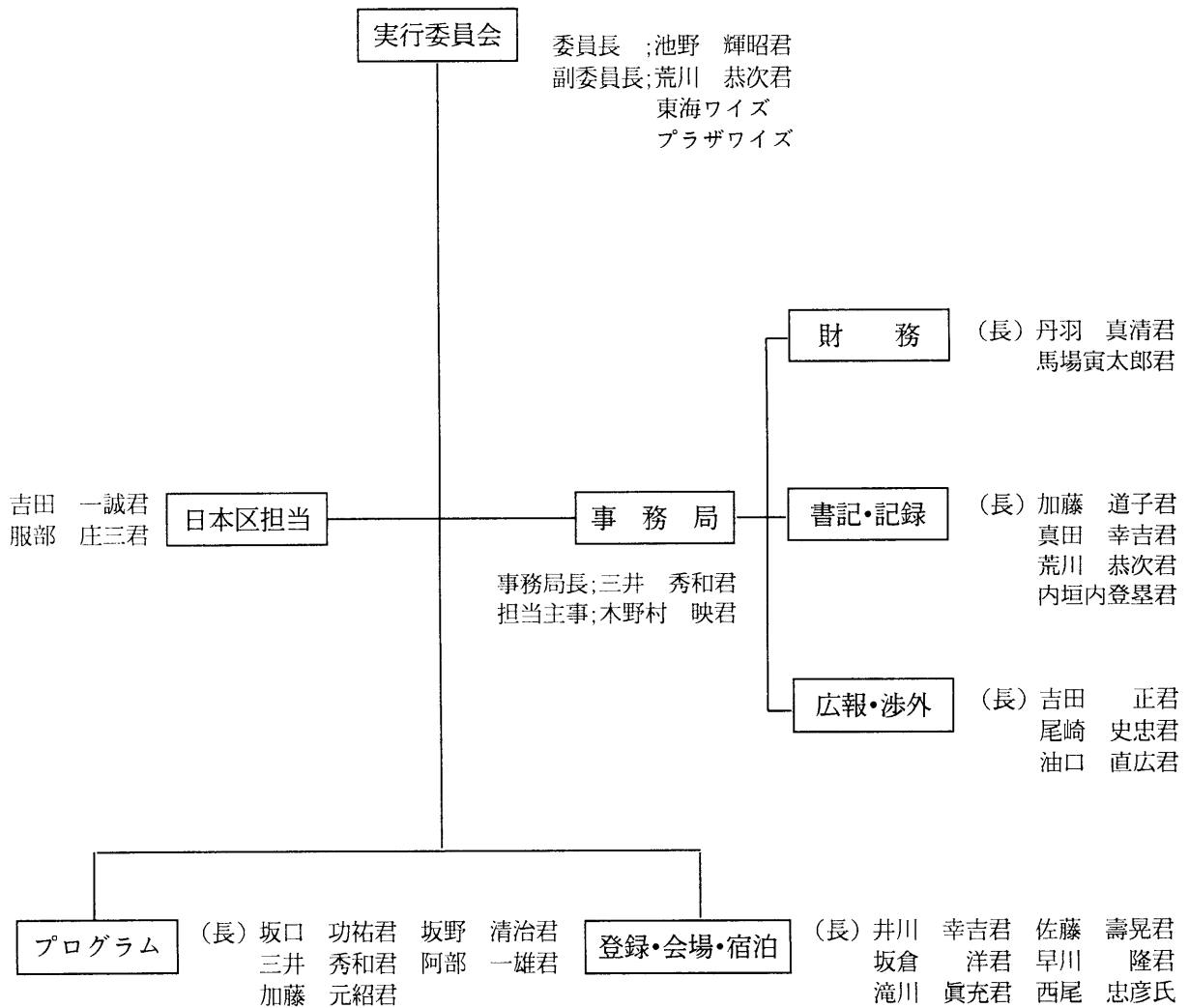
決定しました。

又、各部署とその担当の人選を次の様に決定しました。

事は重大で各メンバーの一層の奮起と役目を責任をもって遂行していただくようお願いして最後の準備委員会報告といたします。

準備委員長 三井

「ワイズメンズクラブ国際協会設立75周年記念 インターナショナル ワイズメン シンポジウム」 第50回日本区記念大会実行委員会組織図



ハッピーバースデー

メ ン 12日 馬場寅太郎
27日 内垣内登墨

メネット 24日 荒川 恒子
24日 井川友里香

†† サンドルクラブ 7名の訪日 ††

2月29日から3月2日にかけて、IBC サンドルクラブのパク会長以下7名が来日しました。今回は公式な訪問ではありませんでしたが、大いに歓迎し友好を深めました。

1日目は空港からトヨタ博物館へ案内し、夕食は加藤(元)兄の「リトルカーニバル」というスケジュールです。トヨタ博物館では、世界から集めたクラシックカーのコレクションに目を見張り、何枚もの写真をカメラに収め、相当満足されたようでした。また、リトルカーニバルでは、歓迎の歌と花とにビックリの様子で楽しいひとときを過ごしました。

2日目は先方の希望である、ゴルフと釣りで。ゴルフ組は前日からのあいにくの雨の中、名四CCに向かいましたが、途中から雲も切れ間が出て着く頃には天気も回復、シングルのヤンさん、チーさんの快調なショットを見ることが出来ました。釣り組は悪天候で急きょ工場見学とグルメに予定変更。坂口兄の関係の工場を見学しましたが、メンバーの中には仕事上たいへん勉強になったと喜ばれた方も何人かみえました。また兄の手料理にも大いに堪能されたようです。夜はグランパスメンバー行きつけの居酒屋「魚々美」で酒杯を上げ、焼酎をストレートで何本も空にし、マスターをビックリさせました。

3日目は日本の懐石料理を味わっていただくこと、池野兄の計らいで料亭「志ら玉」で最後の昼食を楽しみ、日本情緒にひたっていただきました。

今回は、趣味や見学による勉強等、今までと違った交流ができ、今後のIBCの方向づけの一端になればと思います。

服部 庄三



'95 - '96 出席表

'96.3.26

No	氏名	例会								出席ポイント
		3/9 備 委 員 大 会	3/11 第 一 例 会	3/20 中 部 評 議 会	3/26 第 二 例 会					
1	阿部 一雄	/	○	/	/					18
2	荒川 恭次	○	/	○	○					29
3	井川 幸吉	/	/	/	○					33
4	池野 輝昭	○	/	/	○					25
5	内垣内 登 壘	/	/	/	/					7
6	馬場 寅太郎	/	○	/	/					13
7	尾崎 史 忠	/	/	/	/					6
8	加藤 道子	/	○	/	○					28
9	加藤 元 紹	/	○	/	○					15
10	坂口 功 祐	/	○	○	○					36
11	坂倉 洋	/	○	/	○					30
12	佐藤 壽 晃	/	/	/	/					10
13	真田 幸 治	/	/	/	/					3
14	滝川 真 充	/	○	/	/					9
15	丹羽 真 清	/	/	/	/					17
16	服部 庄 三	○	○	/	○					39
17	早川 隆	/	/	/	/					1
18	坂野 清 治	/	/	/	/					5
19	三井 秀 和	○	/	/	○					32
20	油口 直 広	/	/	/	/					2
21	吉田 一 誠	○	○	/	/					34
22	吉田 正	○	○		/					29
23	木野村 映	○	○	/	○					35

~~~~~ C S 報 告 ~~~~~

CS活動「年賀ハガキ」キャンペーン報告を致します。今回の第1位は33枚で池野輝昭君です。第2位は13枚で吉田正君、第3位8枚、阿部一雄君です。他は現金で徴収し日本区へ送金いたしました。

今年度のCS(AF)資金の使途予定は

- YMCA同盟への国際協力事業に対する支援
  1. ベトナムワークキャンプ 150万円
  2. ルワンダ難民事業 150万円
- クラブから申請されたCS事業支援

以上の内容にて使用されます。

今後はBF(切手)の徴収がありますので各自整理して、BF担当者に提出下さいますようご協力をお願い致します。

CS担当 吉田 正